

児童も一緒に「熟議」

コミュニティ・スクール3年目を迎え「地域とともにある学校づくり」について、再度、考えようと「熟議」を行いました。今回は、5・6年生の児童も含め学校・地域・保護者で「豊松小学校のいいところ」を出し合い、自分にできることを考えました。

このような会に、児童が参加するのは初めての試みでしたが、児童も堂々と自分の意見を発表したり、大人の考えを真剣に聞いたりすることができました。子どもたちの思いを直接聞き、話し合うことで、大人もそれぞれの立場で学校運営に「参画」し、共通の目標に向けて「協働」していくことが大切だと再確認しました。

地域・保護者の人たちは一体感があって、協力的だよ。

子どもたちは、みんな仲が良くって、一生懸命勉強しているね。

とよまる公園の活性化について考えることで、学びが深まっているよ。

先生たちが仲良しで、子供のために積極的に行動しているよ。

おとなの人と話をして、楽しかったです。おとなの人たちは、豊松小学校のいいところをたくさんふせんに書いていて、すごいなと思いました。

豊松小学校のことをいろいろ考えてくださっていることがわかりました。

今日は、おとなの人と意見を交流して、豊松小学校のことや地域のことがよくわかって、ぼくたちもこれからいろいろなことに取り組みたいと思いました。

(5・6年生 児童)

先生たちと夢を共有して、地域や保護者みんなを巻き込んだ学習をしたい。(保護者)

自分が楽しい授業を考えて、まずはしっかり地域を知り、カリキュラム開発をしたい。プロや達人に授業に来てもらえるような学習も子どもたちと一緒に仕組みたい(先生)

自分の得意なことを子どもたちと一緒にすることで、自分に務まることを積極的にやりたい。(地域)

学校運営協議会に参加しました。おとなの人と一緒に話をするのは楽しかったです。

ぼくは、グループの中で意見をいうことができました。自分の意見をおとなに伝えることができうれしかったです。

最後の感想もみんなの前で発表しました。地域の人や保護者の方、先生方の気持ちを知って、もっとがんばりたいと思いました。

(5・6年生 児童)